

2022年12月期 第2四半期決算説明

2022年8月
株式会社福田組

証券コード：1899

I .第2四半期決算

I - 1 決算概要 (連結損益) P 3
I - 2 決算概要 (セグメント別) P 4
I - 3 決算概要 (連結貸借) P 5

II .決算見通

II - 1 通期業績見通し (連結損益) P 6
II - 2 配当・株主還元 P 7
II - 3 受注予想 (福田組単体) P 8
II - 4 業績推移 (参考) P 9

I -1 決算概要（連結損益計算書）



■ 上半期は、減収減益

単位：百万円

	前第2四半期 2021/6	当第2四半期 2022/6	増減	増減率
売上高	86,293	69,517	△16,776	△19.4%
売上総利益	10,119	7,259	△2,860	△28.3%
販管費及び 一般管理費	4,574	4,675	100	2.2%
営業利益	5,545	2,584	△2,961	△53.4%
経常利益	5,677	2,725	△2,951	△52.0%
親会社株主に帰属 する四半期純利益	3,758	1,901	△1,856	△49.4%

売上高は、前期からの繰越工事量の減少により、前年同期比19.4%減少。

売上総利益については、売上高の減少と不採算工事の発生、原材料の高騰等により、前年同期比28.3%減少。

営業利益は、売上総利益が減少したことに加え、主に子会社の人材投資、周年事業費等によって販売費及び一般管理費が若干の費用増となったため、前年同期比53.4%減少。

利益の減少に伴い、法人税等が減少したため、親会社株主に帰属する四半期純利益については、前年同期比49.4%減少。

I-2 決算概要（セグメント別売上高・営業利益）



■ 土木及び建築工事等の収益を可視化

※当期より建設事業を3セグメントに分け可視化し、各セグメントの分析をスタート。

単位：百万円

セグメント名	当第2四半期 2022/6			
	売上高	営業利益	営業利益率	
事業別	土木工事	30,350	928	3.0%
	建築工事	30,936	1,533	4.9%
	建設付帯	6,400	△208	△3.2%
	不動産	1,504	374	24.8%
	その他	325	34	10.5%
セグメント 小計		69,517	2,661	3.8%
全社費用		—	△77	—
合計		69,517	2,584	3.7%

建設付帯は、主として子会社における合材製造・販売部門と重仮設材リース部門の収益が対象。当該営業赤字の主な要因は、仕入原材料の高騰等による。

I-3 決算概要（連結貸借対照表）



■ 総資産額は減少、流動比率・自己資本比率は上昇

単位：百万円

	前第2四半期 2021/6	当第2四半期 2022/6	増減	増減率
流動資産	102,647	93,829	△8,818	△8.6%
固定資産	35,648	35,553	△95	△0.3%
資産合計	138,296	129,383	△8,913	△6.4%
流動負債	56,669	44,739	△11,930	△21.1%
固定負債	7,478	7,538	59	0.8%
負債合計	64,147	52,277	△11,870	△18.5%
純資産	74,148	77,105	2,956	4.0%
負債純資産合計	138,296	129,383	△8,913	△6.4%
自己資本比率	53.1%	59.1%	6.0%	—

上半期での売上高減少に伴い売上債権が減少、流動資産は前年同期比8.6%減少。手持工事量の減少により、仕入債務及び未成工事受入金残高が減少、流動負債は前年同期比21.1%減少。流動負債の減少幅が大きいことから、流動比率は前年同期比29%上昇。以上により、総資産額は前年同期と比べて減少したが、利益剰余金の増加に伴い純資産が増加し、自己資本比率は59%台へ上昇。

Ⅱ-1 通期業績見通し【連結損益計算書】



■ 当初の見通しのまま、変更なし

単位：百万円

	当 初 業績予想値	第2四半期時点 業績予想値	増減	増減率	当第2四半期 実 績	業績予想値に 対する進捗率
売 上 高	155,000	155,000	—	0%	69,517	44.9%
営 業 利 益	6,200	6,200	—	0%	2,584	41.6%
経 常 利 益	6,400	6,400	—	0%	2,725	42.6%
親会社株主に帰 属する当期純利益	4,100	4,100	—	0%	1,901	46.4%

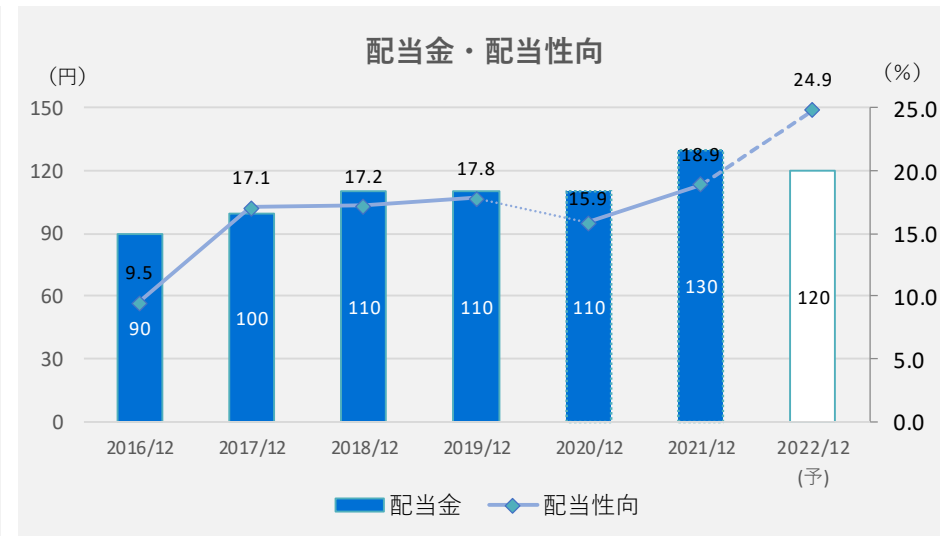
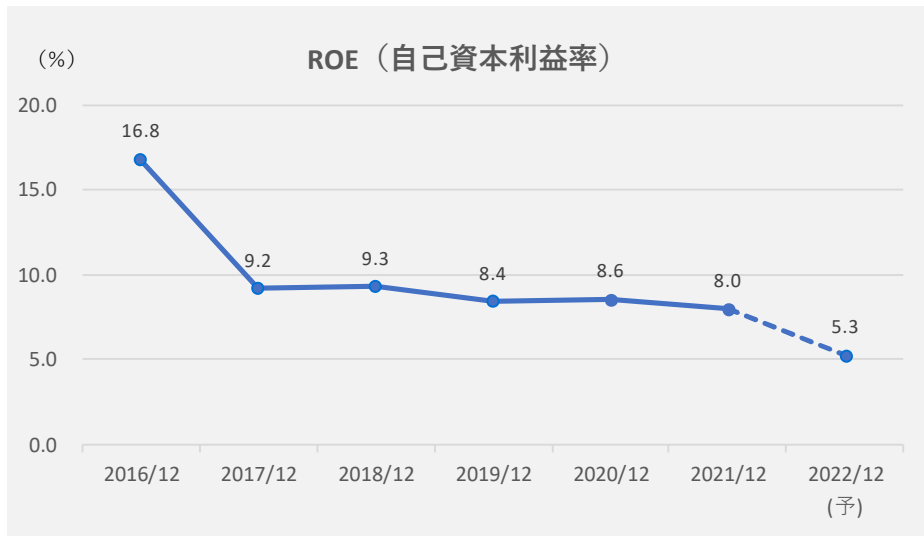
第2四半期実績は、売上・利益共に、業績予想値に対して40%台の進捗率であるが、上半期からの受注環境の回復の兆しに加え、不採算工事が一巡し、売上・利益共に伸長し業績予想値に達するものと予想。

※福田組単体の第2四半期受注実績及び受注予想についてはP8に記載

Ⅱ-2 配当・株主還元



年間配当金予想 120円：変更なし



※2016年7月1日を効力発生日として普通株式5株につき1株の割合で株式併合しております。

ROEは、5%台にて推移する見通し。配当金は、1株当たり110円＋記念配当10円を予定。

配当性向については、25%程度を見込む。前期繰越工事量の減少と受注環境の厳しさを想定した当初計画通りの業績で推移しており、まずは計画通りの安定配当を予定する。

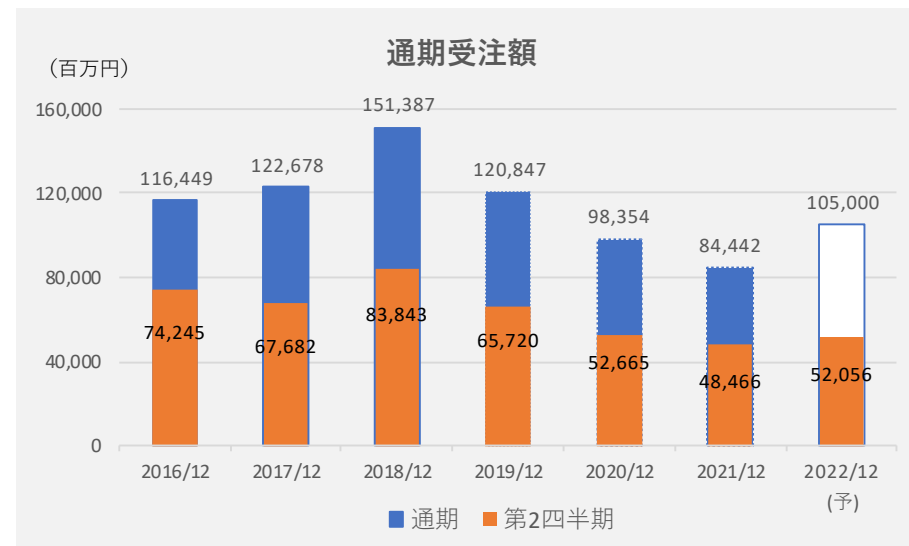
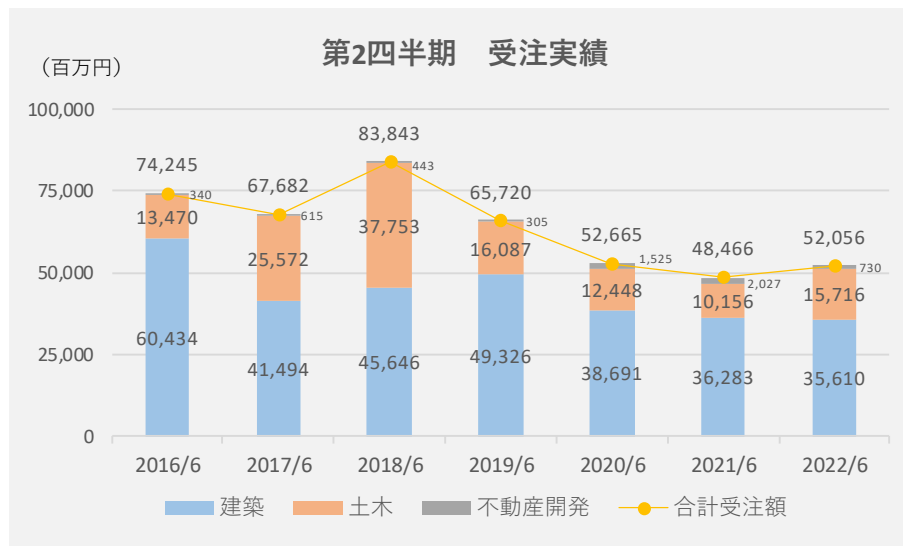
Ⅱ-3 受注予想（福田組単体）



■ 当初の見通しのまま、変更なし

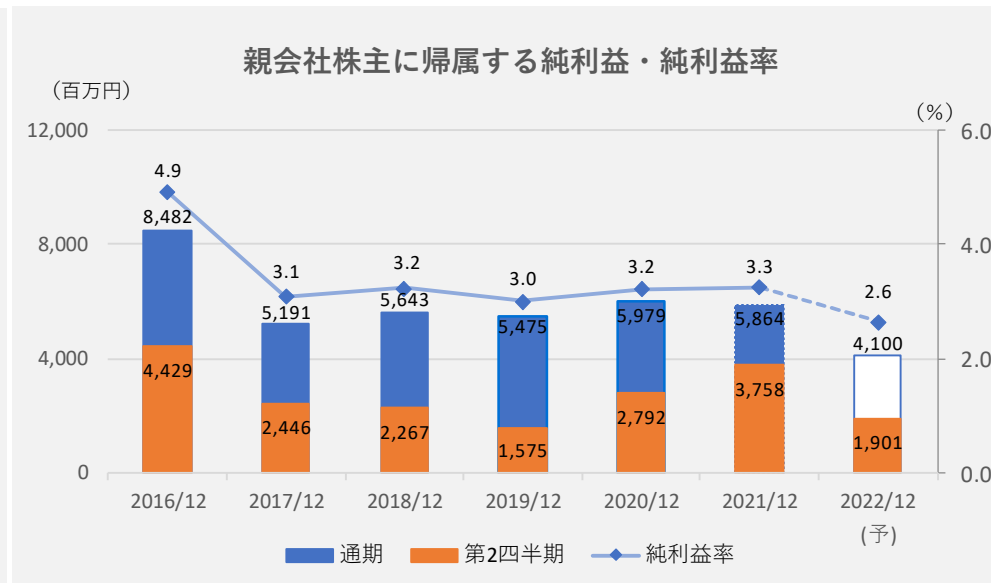
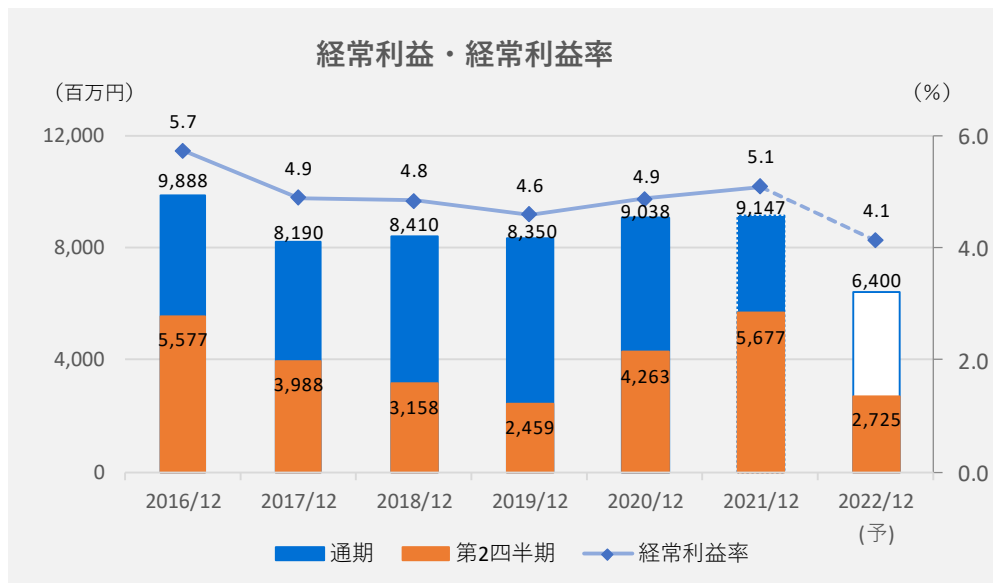
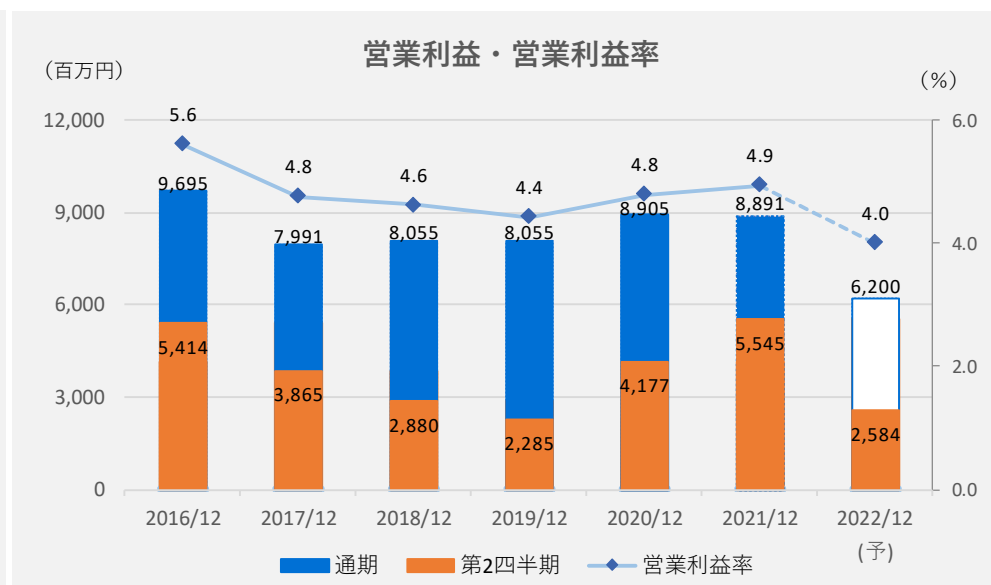
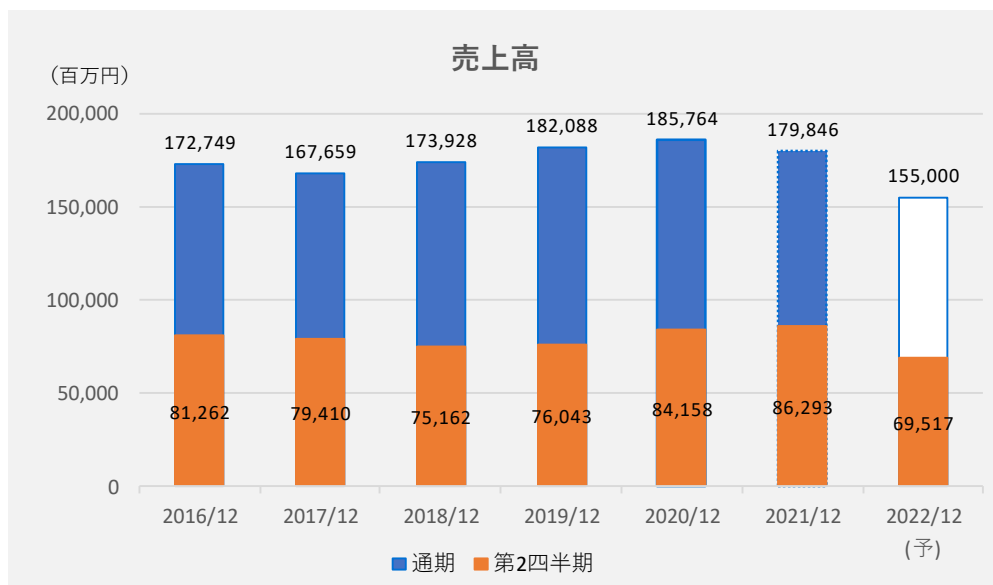
単位：百万円

	当 初 業績予想値	第2四半期時点 業績予想値	増 減	増減率	当第2四半期 実績	予想値に対する 進捗率
受 注 高	105,000	105,000	—	0%	52,056	49.6%



昨年は、コロナ禍による設備投資計画の延期が影響し、受注低迷の結果となったが、今年度は物流・倉庫業の旺盛な投資に加え、コロナ禍の出口に向けた経済活動再開による受注出件の兆しもあり見通しは変えず。但し、長引くウクライナ侵攻やインフレ・円安の動向もあり予断は許さない。

Ⅱ-4 業績推移 (参考)



本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報から得られた判断に基づいており、実際の業績は、様々な不確定要素により異なる場合がありますことをご了承ください。

100年先も誠実



連絡先：経営企画部 経営管理室

TEL 025-266-9111 (大代表)